



代表幹事就任のご挨拶



代表幹事 石井 憲

6月の定例世話会におきまして、埼玉会代表幹事にご推薦いただき就任いたしました石井憲でございます。

埼玉会は今年、創立11年目を迎えておりますが、その活動を振り返りますと、関根初代代表、畠山前代表をはじめ、諸先輩並びに埼玉会会員の皆様のご尽力により、埼玉会の礎が築かれ、現在の発展に繋がっているのだと今更ながら実感しております。改めまして、深く感謝申し上げます。

埼玉会は今年、いまだかつて経験したことのない新型コロナウイルスの影響を受け、行事の中止や延期など、満足のいく活動ができない状況が続いております。また、残念ながら、収束には長時間要することを覚悟しなければなりません。

このような環境下、埼玉会はイベントをはじめとする行事の企画・運営に当たっては、①参加の皆様の健康・安全を第一に、②埼玉会が楽しい・明るい・役に立つシニアライフの広場になること。この二つを目標に活動を進めてまいりたいと思っております。

会員の皆様には引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

退任のご挨拶



畠山 忠昭

関根初代代表から世話人会後の懇親会の帰り「次は君に頼むからね！」と言われ、1年以上固辞しておりました。しかし、最初言われた関根さん流の「埼玉会の幹事はみんなボランティアでやっている会だから、言われたら断らないんだよ！」との言葉が耳から離れず思い切ってお引き受けした次第でした。言葉どおり、皆さんに助けられながらのこの3年間は、大過なく(と自分だけは思っています)楽しみながら過ごせたことに「ホッと」しております。

思い出としては、①就任2年目の埼玉会創立10周年記念パーティーと10年史「わたちの軌跡」を発行。②年間計画イベントのすべてを無事故で有意義に実行できた。③世話会(幹事会)、イベント共に和気あいあいと楽しく開催できたことです。残念だったことは、1にも2にも埼玉会の重鎮地畑健吉氏(11/29)と平松廣氏(12/30)お二人の相次ぐ逝去で、埼玉会にとりまして最大級のショックでした。そして、個人会員が100名を割ってしまったことです。

今後は埼玉会の一会員として埼玉会の更なる発展のために微力ではありますが努力して参る所存です。

これまで支えていただきました会員の皆様、世話人の皆様には心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

旅の思い出 その(4)

坂本 洋二 (川口市)

2年前の12月、JRの廃線予定路線にお別れ乗車してきた。三江線(さんこうせん)、広島県北部の三次駅から島根県日本海沿いの江津駅までの106km。廃線としては最長の部類で、江(ごう)の川に沿ったそれはそれは趣のあるローカル線だ。鉄道ファンとして本当にさみしい限り。

前日、新幹線・姫路駅で姫新線への乗り換え時間の合間に姫路城を訪れる。姫路城は白く、高く、輝いていた。新見駅で伯備線に乗り換え、松江駅着。松江城は、夕暮れ時、小雪降るなか、どっしりと静かに座っているように見えた。正しく冬の山陰だ。これで国宝5城、全部を見て満足する。夜遅く山陰本線・江津駅着。

江津駅、早朝出発なので、暗い内にホテルを出ると、同好の士と思われる人がちらほら。聞いて見ると北海道、新潟、静岡からとのこと。2両は程よく埋まった。マニアはみんな立派なカメラを持っている。発車後も窓外、車内かまわずパチパチ。明るくなってくると、所々に「ありがとう 三江線」「三江線 さようなら」の横断幕が見える。子供がお婆さんと、小さな手をちぎれんばかりに振っている。なんだか可哀想だなあと思う。廃線になったところは、景色が素晴らしいところが多い。廃線という事態になってからでしかお客が多くならないというのは、なんとも複雑な心境だ。終点・三次駅着。振り返って鉄道をしばし見詰め、目に焼き付けた。

三次駅から広島駅までは、4人掛けのボックスシートだ。向かいには上品な老婦人が。94歳、今日は、広島のホテルでの、人生最後となる3人だけの同級会に参加するという。久しぶりに話し相手が出来たと思ってくれたのか、いろいろと過去の人生の出来事をゆったりと話してくれた。2時間余、相槌を打ってしっかりと拝聴する。広島駅のホームには、広島に嫁いだ72歳の長女の方が迎えに。二人は腕を組み、肩を寄せ合い、なにやら談笑しながらゆっくりとエスカレーターの方に歩いていった。なぜか、二人の後ろ姿が忘れられない。

埼玉会イベントのご案内

イベント幹事 菊池 正美

今後のイベント予定は次のとおりです。イベントごとに詳細なご案内をいたします。「参加」希望者は、次ページ巻末の事務局まで ① e-mail または ② FAX でお申込みください。

- 2020.09.18(金) 第52回「武蔵の小京都・小川町」建物巡り
- 2020.11.18(水) 第53回 23番「音楽堂」、24番「宝仙寺」(秩父シリーズNo.9)
- 2021.01.08(金)「初詣」大宮氷川神社、「新年会」(場所未定)
- 2021.02.17(水) 第54回 「KK 明治、三島食品」工場見学

≪埼玉俳壇≫

緑陰の消えてゆきたる夕暮かな

地畑 朝子

花言葉

すいれん
睡蓮



堰 (ペンネーム)

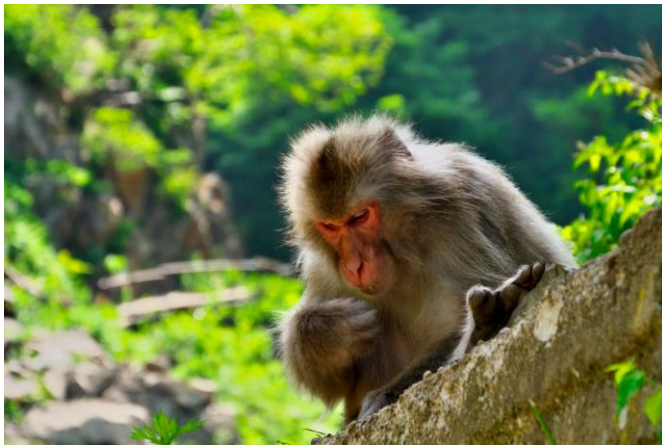
花言葉は、清純な心・信仰・清浄・信頼です。蓮の花とは違い、水藻に浮かんでいます。「濁りたるままに明けくる水の色やがて開かん睡蓮ゆるる」(武川忠一) その睡蓮の生命は、降って湧いてきたような新型コロナ禍を受け入れません。むしろ花は元気をくれます。今や、世話人会やイベントにも新たな日常を求める試練が与えられています。そこで、まずはこの花の姿をみて心の整理をし、必ず収束することを信じて、豊かに生き生きとした仲間とのふれあいをアフアメーションしたいものです。

会員の写真作品紹介コーナー

No.8 「無心」

田中英司氏 (さいたま市)

地獄谷野猿公苑で、少し高い場所から全体を見下ろしているボスらしき猿を撮りました。



事務局報告

1. 2020年度の総会&懇親会「中止」

「新型コロナウイルス」の感染拡大により、「総会&懇親会」を中止とし、2019年度の活動報告及び2020年度の活動計画は、本部発行のマチュリティニュース同封にて文書によるご報告とさせていただきます。

事情ご賢察の上ご了承くださいるようお願い申し上げます。

2. 埼玉会幹事人事異動

6月11日(木)開催の定例幹事会において、現代表幹事の畠山より退任の申出と後任に石井憲氏を推薦の提案がありましたが、石井氏の受諾により、出席幹事全員の賛成をもって承認されました。

3. 2020年度の講演会について

例年総会時には講演会をセットで実施してきましたが、今年度は「新コロ」禍により、政府指導を順守する形でさいたま市の各施設利用規定が厳しく、3密(「密閉」・「密集」・「密接」)を避けざるを得ない観点からこの時期の開催を断念しました。

事態が改善した際は改めてご案内申し上げます。

「新型コロナウイルス」の1日もはやい鎮静化とコロナワクチンの開発、そして会員の皆様のご無事を祈念してやみません!!

With・コロナ コーナー!!

収束の見えない新型コロナウイルスに翻弄される中、寄せていただいた皆さんからのエッセイをご紹介します。

① (倉片厚子) コロナで自粛要請が出た後、自称元気マンの私が一日過ぎ去る毎に何故か焦燥感にとり憑かれて落ち着かず、心の病になりそうです。又コロナ太りで下腹に脂肪がついてきたので、ストレッチと朝夕の散歩を日課にしました。仕事上外出制限が難しいことを区役所勤務の友人に話したら白い目で見られ、肩身の狭い思いをしました。でも、コロナと上手く共存して強く楽しく生活していくつもりです。

② (関谷一郎) 高齢者のwithコロナ生活は日退協の生きがいづくり活動を直撃しています。他人と距離をとることが基本ですから、今までのようなイベントや集会、会食の見直しが迫られています。

合唱NG、カラオケNG、多人数での飲食NG、密接運動NGなどで、コロナの終息が見通せない中、コロナとどのように折り合いをつけて生活したら良いか課題が突き付けられています。個人的には今年予定のイベントがすべて中止になりました。

③ (田中英司) 年号が変わり、即位の祝賀ムードから1年もせずに、今の状況になるとは思っても見ませんでした。中国の一地方から始まり、瞬間に世界に広がり、多くの犠牲者を出しているウイルス、これは生物ではなくタンパク質だそうです。エー本当、と言う思いですが、目に見えぬほど小さい単なる物質が何故か意思が有るかのように活動し変異するのか、又、最初の1個ほどの様に生まれたのか、昔から有った物が人の活動で覚醒したのか、研究者ですらよく分からないそうです。尚更の事凡人の私に分かる訳がありませんが、ただ、ワクチンは必ず出来ると思っています。

埼玉会の行事や後の反省会(飲む)が、社会的距離を気にする事無く楽しめる日が必ず来ると思っています。

④ (伊藤春江) 皆さんが最近にない稀な時間を過ごしたことでしよう。私も仕事を休み、買い物、たまに孫の家に世話にいく生活をしていました。私にとってイベントが無く、主人とずっと一緒に3~4ヶ月も過ごしたことは、ここ何年かなかったように思います。正直、のんびりとした生活も「良いな～」と感じ、動き出すことが億劫になりました。ですが、そろそろ三密、マスク、手洗いを怠らず、始動します。自分の成長と心と身体を健康維持を図っていききたい。

⑤ (星 洋一) 2月下旬より生活のリズムが変わり気持ちが大変疲れる毎日です。3ヶ月半公共交通機関に乗らず、予定していた全イベント・活動が無くなり、外出は食料品と薬品の買い時だけ。毎日の3食は自宅です。後期高齢者の日常はこうなるのかな。気分転換のため書籍・書類・写真の整理と庭木の剪定で大量のごみを出し、運動不足解消のため毎回異なる地域でウォーキングをしている日々。こんな毎日を変えねばと新しい動きを模索中です。

発行者 公益社団法人 日本産業退職者協会・埼玉会

事務局 畠山 忠昭

事務局 〒332-0031 川口市青木 1-22-17-902

TEL&FAX 048-259-5917

e-mail jarp_saitama@yahoo.co.jp